

別 建 管 第407号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

別海町長 水 沼 猛



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、平成20年9月19日付け国道企第37号にて依頼のありました「今後の道路行政についての意見・提案」を別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

北海道 別海町

本町は広大な面積を有し、地域間及び市町間距離が長いことから自動車交通の割合は極めて高い町であります。

日常の生活物資や通学及び農水産物の輸送から救急医療時の搬送など、活力ある地域づくり・まちづくりを進める上で、道路整備は欠くことのできない政策であります。

特に、本町は第一次産業を基幹産業としており、食料基地として安全で安心な食料の輸送は極めて重要なことでありますので、道路財源を確保し、将来にわたり計画的且つ必要性の高い道路整備の推進を図りたいと考えております。

道路特定財源の一般財源化については、疲弊している地方の財政事情を考慮し、地方道路臨時交付金の増額による交付率の引き上げ、制度の拡充や補助率の嵩上げ等地方への配分割合を高め、地方の道路整備財源を確保していただきたい。

1,184km(H20.4.1現在)の本町の道路に係る年間維持管理費は多額であり、町財政において大きな負担であるため、道路維持管理に対する補助制度の確立を強く要望いたします。

また、道路整備は地域のまちづくりの基盤であり、地域の実情に合う弾力性のある道路構造規格の適用とそれに伴う事業制度の確立が必要である。

地域高規格道路は、積雪寒冷地域で広域分散型地域構造を有する当地域におきましては、経済・観光・医療・文化などの発展のために早急に整備をお願いいたします。

○現状

「既存舗装道路の老朽化に伴う更新対策」

1 当町の町道の実延長は1,184km(H20.4.1現在)で、舗装率は約61%に達しているが、昭和40年～50年代に整備された道路は、経年劣化による老朽化が進行しており、更新需要が増加してきているが、近年の厳しい財政事情により、更新対策が追いつかない状況である。

「道路維持管理費」

2 町道の維持管理費に要する費用は、道路予算の約40%を占めており、逼迫する町財政の大きな負担となっており、地域に密着する生活道路の整備計画にも影響が出てきている現状にある。

○課題

1 ストックされた町道の更新を実施するためには、ストックマネジメントに基づきこれまでの事後保全的な対策に予防保全的な仕組みを加え、道路施設の長寿命化によるライフサイクルコストの低減のための的確な点検診断や対策工法を確立し、再整備計画の策定が喫緊の課題である。

2 今後、老朽化施設の更新対策事業費が増加していくことから、維持管理に対する財源の確保が喫緊の課題となっており、道路維持管理に対する補助制度の創設が必要である。

本町の新しいまちづくりを進める上で、基本とする3つのテーマを定め、将来のまちづくりに反映させる。

① 共生と循環

豊かな自然環境と生産活動、生活環境が調和した、すべての人が暮らしやすい生活・社会環境の形成のため、人と自然、人と人が共生し、環境や経済の循環するまちづくりを進める。

② 希望と活力

活気ある地域社会を構築するには、そこに住む人がいつも希望を持てるよう、特色ある産業、これまでのまちづくりの取組みを最大限に活用し、新しいまちの活力を創造するまちづくりを進める。

③ 協働と自立

地方分権時代のまちづくりには、住民と行政がお互いの役割分担を明確にしながら、住民と行政が協働し、自立したまちづくりを進める。

このような当町の将来のまちづくりのテーマにおいて、住民の日常生活や経済活動、広域的な交流を支える基盤としての道路・交通網の整備に向け、国道・道道の整備を要請していくとともに、これら幹線道路との連携や機能分担、町内地域の連携強化などに留意しながら、町道の整備を計画的、効率的に進める。

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

北海道 別海町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 都市交通の快適性、利便性の向上	国道243号千歳橋の架替 千歳橋は、幅員が狭いことから特に冬季間は降雪の影響により、大型車両の通行が出来ず片側一時停止の状況にあることから、早急な改築が緊急の課題である。 地域高規格道路の整備促進 (根室市(厚床)～中標津町内) (釧路市 ～標津町間) 本町は、道央圏から遠く地理的に不利な条件下にあり、また、面積が広く市街地が散在していることから、農水産物の輸送、緊急医療時の搬送などの面から高規格道路網の整備は緊急の課題である。	改築により、大型車両の対面通行が容易になり、交通安全・事故防止が図られる。 釧路・根室地域の人的・物的交流や、高度医療、教育・文化、観光等の利便性の向上や物流拠点である空港・港湾との輸送効率の向上が図られる効果が期待される。 また、冬期間の交通安全確保が図られる。	